

## 6. 主な報道発表 (2026年4月3日以降)

発表日	発表内容	詳細 ▼当社HP
4月3日	<b>敦賀発電所 1号機 第7回定期事業者検査の開始について</b> 敦賀発電所 1号機 (沸騰水型軽水炉: 2017年4月19日~廃止措置中) は、2026年4月6日から約5ヶ月の予定で第7回定期事業者検査を実施します。	
4月13日	<b>敦賀発電所 2号機における定期安全レビュー (第3回) の結果について</b> 当社は4月13日、敦賀発電所 2号機の定期安全レビュー (第3回) の評価結果をとりまとめました。 定期安全レビューは、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に基づき、原子炉施設における保安活動の実施状況及び保安活動への最新の技術的知見の反映状況等を定期的 (10年を超えない期間ごと) に評価する活動で、今回は2015年4月から2025年3月までを対象期間として評価を行い、保安活動が継続的に改善され、安全性の維持・向上が適切に図られていることを確認しました。 当社は、今後とも安全確保を最優先に、保安活動を継続して実施・改善していくことにより、発電所の安全性・信頼性の向上に取り組んでまいります。	

## げんでんふれあいギャラリー 2026年5月催し物案内

<b>写真展「みんなに猫を処方します」</b>	会期	5月5日 (火・祝) ~5月10日 (日) *最終日は15:30まで	
当ギャラリーでは初となる、津原 裕生 様による写真作品展です。愛猫の可愛い仕草や日常を撮影した作品を30点展示予定です。			
<b>PHOTO CLUB「宙」展2026 —自由 気ままに—</b>	会期	5月19日 (火) ~5月24日 (日)	
PHOTO CLUB「宙」(代表:木村 多恵子 様) の10名の皆様による写真作品展です。それぞれの思いを表現した作品を20点展示予定です。			

催し物や展示に関する  
お申込み・お問合せ先

げんでんふれあいギャラリー (敦賀市本町2丁目9-16)  
フリーダイヤル: 0120-749-201 FAX: 0770-25-5603  
開館時間: 9:30~16:30 休館日: 12月29日~1月3日



◀こちらからげんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

## イベントブース出展のお知らせ

2026年5月イベント出展情報 お誘いあわせのうえ、是非お越しく下さい。

出展日	イベント名	会場	内容
5/10 (日)	第44回 親子のフェスティバル 9:30~15:00	きらめきみなと館 (敦賀市桜町1-1) とその周辺	・工作(動物ダンボール貯金箱) ・クリアランスベンチ展示・放射線測定体験
5/24 (日)	2026 きいばすさつきまつり 10:00~15:30	美浜町エネルギー環境教育体験館 「きいばす」 (三方郡美浜町丹生62-1)	・イライラ棒! 電車ドキドキ運転ゲーム! ・クリアランスベンチ展示・放射線測定体験



＜本資料のお問合せ先＞  
日本原子力発電株式会社 (略称: げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部  
TEL: 0770-25-5713 住所: 敦賀市本町2丁目9-16



# げんでん いんぷおめーしょん5月号



げんでん LINE  
公式アカウント  
お友達登録(無料)  
はこちら▶



敦賀発電所キャラクター げん丸

## 1. 敦賀発電所の状況 (2026年5月1日現在)

プラント (炉型)	状況
<b>1号機 (沸騰水型)</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>廃止措置中</b> (2017年4月19日 ~ 2047年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>○2015年4月 営業運転終了</li> <li>○第7回定期事業者検査中 (2026年4月6日~8月下旬)</li> <li>* 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。</li> </ul> </li> </ul>
<b>2号機 (加圧水型)</b> 	<p>電気出力 116.0万 kW, 1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量 1923.0億 kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>第18回定期検査中</b> (2011年8月29日 ~)</li> <li>● <b>新規規制基準適合性確認の申請に向けた取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○追加調査実施中 (2025年9月16日~)</li> </ul> </li> </ul> <p>本紙2ページ目に詳しく掲載しています。</p>

## 2. 敦賀発電所 3,4号機準備工事の状況 (2026年5月1日現在)

閣議決定された第7次エネルギー基本計画において、「再生可能エネルギーと原子力をともに最大限活用していくこと」が明記され、原子力規制委員会と事業者の間で革新軽水炉に関する議論もなされています。

本計画には、地域の皆さまから大きな期待を寄せさせていただいており、こうした期待に応えるべく、実現に向けた取り組みを継続してまいります。



建設予定地の状況 (2026年4月22日撮影)

## 3. トピックス

### (1) 2026年度 入社式および敦賀発電所入所式を実施 ~新入社員を迎えて~

4月1日、当社本店において2026年度入社式を執り行い、26名が新たに「げんでん社員」として社会人生活の第一歩を踏み出しました。入社後は、東海総合研修センターにおいて新入社員研修を実施しました。

研修では、業務の基礎となるビジネスマナーや、エネルギー・原子力発電に関する基本的な知識を学ぶとともに、現場作業に潜む危険を疑似体験する安全体感教育等を通じて、安全意識や危険回避能力の向上を図りました。

2週間にわたる研修を修了した4月15日には、敦賀地区において、立地・地域共生部に1名、敦賀発電所に4名の新入社員を迎えました。敦賀発電所で行われた入所式では、寺谷発電所長より激励の言葉が贈られました。

今後は、配属先での実務を通じて知識と技術を身につけ、「げんでん」の一員として、安全を最優先に業務に取り組んでまいります。



新入社員 26名が入社しました

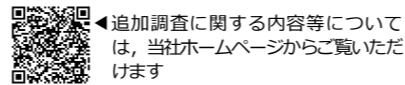


新入社員研修の様子  
(左: ビジネスマナー研修/右: 安全体感教育)



敦賀発電所入所式の様子

## (2) 2号機 新規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査



追加調査に関する内容については、当社ホームページからご覧いただけます

現在、現地における追加調査を行っています。掲載している写真は「その他の破砕帯等（調査坑）」の調査を目的とした作業の一つとして、調査坑の掘削にあたり立坑の掘削作業を行っているものです。引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。

### D-1トレンチ南方での調査

浦底断層

約200m (4)原子炉建屋周辺の地質、破砕帯の活動性等(調査坑による岩盤中での面的な調査)

2号機

### 調査坑（立坑）の掘削

○地下約30mに調査坑を掘削するため、資機材の搬入・土砂搬出に必要な立坑を掘削しています。

○立坑内部で掘削した土砂は、クレーンで引き揚げ、ダンプに積み込んで搬出します。

立坑

約30m

約200m

約3m

約10m

立坑の掘削（立坑内部）

土砂の積み込み作業（地上作業）

<立坑掘削イメージ図>

## (3) 福井公募研究 2025年度採択結果について

当社は、福井公募研究について、2025年10月3日から2026年1月9日まで募集し、応募いただいた研究から1件を採択しました。採択した研究は、今後、研究に係る契約を締結後、1年程度を目途に研究を実施します。

福井公募研究は、福井県の嶺南Eコースト計画における「多様な地域産業の育成」に係る当社の取組みとして、地元企業等\*が持つ優れた技術や発想等を活用し、敦賀発電所の運用改善や研究活動を通じた地元企業等の技術力の向上、研究活動の活性化等を目的に実施しているものです。当社は、今後とも、地元企業等と連携した研究開発に努め、地元企業等を支援してまいります。

\*地元企業等とは、福井県内に本社若しくは事業所を有する企業、または福井県内の大学・高専、研究機関をいう。

研究提案件名	提案企業	所在地
自動レーザー除染装置を用いたサブプレッション プール内面の塗膜除去装置の開発	LDD株式会社	敦賀市

## 4. 次世代層への教育支援活動

### (1) げん丸塾「春休み！科学体験の旅」の開催

3月26日、「春休み！科学体験の旅“サイエンスヒルズこまつひとものづくり科学館他見学”」を開催し、げん丸塾\*会員29名が、石川県にある科学の楽しさや不思議を体験できる人気スポット「サイエンスヒルズこまつひとものづくり科学館」を見学し、3Dスタジオ（シアター）や「サイエンスマジックショー」を通じて、科学について楽しみながら学びました。

また、隣接する「こまつの杜」も訪れ、迫力ある世界最大級の建設機械等を見学し、ものづくりへの理解を深めました。



\*「げん丸塾」とは、次世代層への科学・エネルギー教育支援として行っている活動です。



## (2) 科学探求講座を実施

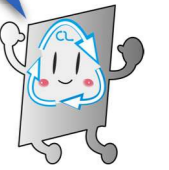
3月23日、敦賀市の敦賀気比高等学校の生徒22名の皆さまが、敦賀総合研修センターでの「科学探求講座」に参加しました。講座では、「原子力エネルギー情勢と環境」、「原子力発電所の概要」、そして「放射線について」等の講義や実習を実施しました。

参加された生徒からは、「説明が面白く、とても分かりやすかった」「楽しみながら学ぶことができた」といった声が寄せられ、科学への理解を深める有意義な機会となりました。



講座「原子力エネルギー情勢と環境」 原子力発電の仕組みを映像で学ぶ様子 「放射線スクリーニング」の実習で発表される生徒の皆さまの様子

講義「放射線について」では、放射能レベルに応じて、分別し、国の認可・確認を得た「放射性物質として扱う必要がないもの」を資源として有効活用する仕組み「クリアランス制度」についてもご紹介しました。



クリアランス制度 理解促進キャラクター たらいクリン

## 5. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

敦賀総合研修センターでは、2026年度30コースの公開研修の開催を予定しており、以下はお申込み期間近となっている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細内容、応募方法ならびに受講料につきましては、当社ホームページをご覧ください。 <https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/>

公開研修コース	コース概要	研修期間	申込み期限
根本原因分析手法コース	事故やトラブルの原因を分かりやすく整理し、問題の根本的な原因を見つける手法SAFER（Systematic Approach For Error Reduction）を学びます。 この手法は原子力産業の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	6月24日～ 6月25日 (1.5日間)	5月15日
労働安全衛生コース	従業員や作業員を災害から守るために労働安全衛生法の基礎知識及び安全管理の手法の一つである労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)について学びます。 また、現場作業をリスクアセスメント手法に基づき疑似体験することにより安全意識の向上を目指します。原子力産業の現場だけでなく、一般の作業現場でも役立つ内容です。	7月6日～ 7月7日 (2日間)	5月27日
確率論的リスク評価コース	原子力発電所で起こりえる事故の発生頻度を確率論的に求め、そのリスクを評価します。この研修では、確率論的リスク評価(PRA)の基礎知識や具体的な評価手法を学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	7月7日～ 7月8日 (2日間)	5月28日
耐震安全コース	耐震設計の基礎（概論、地震動、新規制基準等）、原子力発電所の建築、土木構造物の耐震設計及びポンプ・容器・配管並びに電気盤等の耐震設計を学びます。 なお、受講者は地震・耐震に関する基礎的な知識を有していることが望ましい。	7月8日～ 7月9日 (2日間)	5月29日
原子力安全基礎コース	原子力発電所に関する最新の規制体系、基準を理解するとともに、安全確保の仕組み（安全設計）や事故・トラブル時の評価（安全評価）及び過酷事故時の対策等、原子力の安全に係る事項を学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	7月14日～ 7月15日 (1.5日間) *1日単位の受講も可	6月4日
原子燃料コース	原子力発電において使用される原子燃料について、ウラン鉱石の採鉱から使用後の処理、処分までの原子燃料サイクルとともに、原子燃料の取扱上、重要な保障措置や使用済燃料の輸送・貯蔵について学びます。	7月16日 (1日間)	6月5日

公開研修に関する  
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市沓見165号9番地6）  
TEL：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（研修申込み専用）  
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp

